

令和2年度後期 学生による授業評価アンケート集計結果

1. アンケート実施概要

(1) 目的

授業評価アンケートは、次の①～③を基本原則とし、本学の教育の質・教育効果を向上させることを目的として実施した。

- ① カリキュラムの改善につなげる
- ② 授業の改善につなげる
- ③ 透明性を高める

(2) 実施期間

中間：2020年11月12日(木)～12月7日(月)

期末：2021年1月8日(金)～2月12日(金) (※集中講義については随時実施)

(3) 実施科目

令和2年度後期については、原則対面授業が実施され、教室の規模等に合わせて分割入替制や2部屋連結制でも授業が開講された。しかし年明け早々に緊急事態宣言が発令されたため、後半授業においては遠隔授業が実施された科目も多い。

新型コロナウイルス感染症が懸念されるなか、授業評価アンケートについては、中間・期末ともにUSPοによるWebアンケートを実施することとなった。

期末アンケートの実施率は対象科目225科目に対し219科目(97.3%)、回答率は28.5%であった。従前のマークシート形式で実施したときに比べて低い回答率となった。前期は遠隔授業で学生が頻りにUSPοを確認する習慣があったこと、Microsoft Formsを用い教員が個々にURLを通知したため、Webアンケートにもかかわらず5割の回答率を得た。しかし今回は対面授業によりUSPοの閲覧習慣が薄まったこと、急遽、遠隔授業に切り替わったことにより、実施の旨を十分伝える機会が設けられなかったことが大きな要因と考えられる。

(参考)H26年度後期 34.5%、H27年度前期 32.4%、H27年度後期 29.2%、R02年前期 52.8%

科目区分	開講科目	実施対象科目	実施科目	アンケート実施率	アンケート実施科目			※ 昨年度同期回答率
					受講登録者数	回答数	回答率	
環境科学部	106	55	55	100.0%	2,469	774	31.3%	77.3%
工学部	71	34	34	100.0%	2,001	494	24.7%	81.2%
人間文化学部	145	59	57	96.6%	2,713	727	26.8%	81.8%
人間看護学部	17	8	9	112.5%	663	154	23.2%	95.7%
全学共通教育	201	54	50	92.6%	1,606	530	33.0%	91.3%
人間学	14	10	10	100.0%	923	269	29.1%	65.3%
地域科目	16	3	4	133.3%	369	112	30.4%	90.3%
合計	570	223	219	98.2%	10,744	3,060	28.5%	82.0%

※人間看護学部、地域科目については追加申告等により対象科目以上の実施科目あり

(4) 設問内容

【あなた自身について】

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。《必須》

- ①全く読まなかった ②あまり理解していなかった ③ある程度理解した ④きちんと理解した

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。《任意》

- ①全く取り組まなかった ②あまり取り組まなかった ③ある程度取り組んだ ④かなり取り組んだ

設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。《任意》

- ①全くできなかった ②あまりできなかった ③ある程度できた ④かなりできた

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。《必須》

- ①全く達成できなかった ②あまり達成できなかった ③ある程度達成できた ④よく達成できた

【授業について】

- 設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。《必須》
①全く説明されなかった ②あまり説明がなかった ③ある程度説明があった
④しっかりと説明があった
- 設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。〈任意〉
①かなり聞き取りづらかった ②聞き取りづらい時があった ③問題なく聞き取れた
④とても聞き取りやすかった
- 設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。〈任意〉
①かなりわかりにくかった ②わかりづらい時があった ③わかりやすかった
④とてもわかりやすかった
- 設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。《必須》
①全くそう思わない ②あまりそう思わない ③ややそう思う ④とてもそう思う
- 設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスペーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。〈任意〉
①全く確認していない ②あまり確認していない ③ときどき確認していた ④頻繁に確認していた
- 設問10 授業の進め方はどうでしたか。〈任意〉
①遅いと感じた ②速いと感じた ③だいたい適切だったと思う ④とても良かったと思う
- 設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。《必須》
①満足していない ②あまり満足していない ③やや満足している ④とても満足している
- 設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたか。《必須》
①全く思わなかった ②あまり思わなかった ③ある程度思った ④強く思った
- 設問13 この授業でよかった点を記述してください。(自由記述)
- 設問14 この授業で改善して欲しい点を記述してください。(自由記述)

2. アンケートの集計結果

(1) 平均ポイント (学部等別)

…最高 …最低

アンケート項目	環境	工	人文	人看	全共	人間学	地域	全体
Q1. シラバスの内容の理解	3.13	2.94	3.10	2.96	2.95	3.08	3.00	3.04
(標準偏差)	0.63	0.68	0.64	0.70	0.74	0.68	0.71	0.68
Q2. 授業時間外学習	2.85	2.96	2.46	2.82	2.86	2.48	2.80	2.74
(標準偏差)	0.73	0.67	0.84	0.87	0.77	0.89	0.91	0.81
Q3. 授業への集中度、意欲	3.23	3.03	3.20	3.26	3.23	3.07	3.04	3.17
(標準偏差)	0.61	0.68	0.59	0.59	0.67	0.66	0.65	0.64
Q4. 到達目標の達成	3.01	2.87	2.99	2.90	3.04	3.00	2.96	2.98
(標準偏差)	0.52	0.61	0.51	0.54	0.60	0.55	0.60	0.56
Q5. 授業の進め方、成績評価等の説明	3.37	3.24	3.45	3.44	3.31	3.20	3.29	3.34
(標準偏差)	0.62	0.63	0.62	0.55	0.66	0.68	0.67	0.64
Q6. 話し方(スピード、声の大きさ等)	3.25	3.08	3.34	3.16	2.94	3.14	2.94	3.17
(標準偏差)	0.69	0.67	0.63	0.71	0.85	0.72	0.69	0.72
Q7. 視覚情報(板書、スライド等)	3.26	2.97	3.23	3.26	2.95	3.08	2.70	3.12
(標準偏差)	0.70	0.73	0.74	0.58	0.78	0.82	0.86	0.76
Q8. 講義資料(教科書、資料等)	3.39	3.20	3.46	3.55	3.31	3.33	3.13	3.36
(標準偏差)	0.62	0.66	0.59	0.51	0.71	0.67	0.75	0.65
Q9. 学生の理解度の確認	3.55	3.39	3.36	3.46	3.41	3.14	3.57	3.42
(標準偏差)	0.66	0.69	0.81	0.76	0.71	1.04	0.60	0.76
Q10. 授業の進め方								
Q11. 総合的な満足度	3.30	3.07	3.36	3.28	3.14	3.14	3.05	3.23
(標準偏差)	0.64	0.68	0.61	0.61	0.75	0.71	0.71	0.68
Q12. 当該分野への興味・関心	3.07	2.91	3.00	3.24	2.90	2.96	2.88	3.00
(標準偏差)	0.67	0.75	0.70	0.70	0.79	0.77	0.71	0.73

(2) 平均ポイント (学年別)

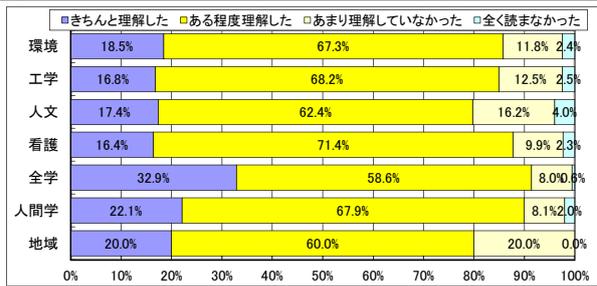
アンケート項目	1年	2年	3年	4年	全体
Q1. シラバスの内容の理解	3.03	3.09	3.04	2.96	3.04
(標準偏差)	0.68	0.66	0.67	0.84	0.68
Q2. 授業時間外学習	2.68	2.84	2.84	2.71	2.74
(標準偏差)	0.85	0.72	0.71	0.79	0.81
Q3. 授業への集中度、意欲	3.17	3.17	3.17	3.04	3.17
(標準偏差)	0.66	0.62	0.61	0.58	0.64
Q4. 到達目標の達成	2.98	2.96	3.02	3.02	2.98
(標準偏差)	0.57	0.54	0.51	0.59	0.56
Q5. 授業の進め方、成績評価等の説明	3.33	3.36	3.36	3.50	3.34
(標準偏差)	0.65	0.61	0.64	0.68	0.64
Q6. 話し方(スピード、声の大きさ等)	3.12	3.23	3.25	3.17	3.17
(標準偏差)	0.75	0.67	0.68	0.75	0.72
Q7. 視覚情報(板書、スライド等)	3.11	3.14	3.12	2.98	3.12
(標準偏差)	0.76	0.75	0.75	0.75	0.76
Q8. 講義資料(教科書、資料等)	3.35	3.36	3.37	3.32	3.36
(標準偏差)	0.66	0.65	0.61	0.62	0.65
Q9. 学生の理解度の確認	3.41	3.46	3.34	3.65	3.42
(標準偏差)	0.78	0.73	0.74	0.72	0.76
Q10. 授業の進め方					
Q11. 総合的な満足度	3.22	3.24	3.27	3.13	3.23
(標準偏差)	0.69	0.66	0.62	0.70	0.68
Q12. 当該分野への興味・関心	2.99	3.01	3.07	2.85	3.00
(標準偏差)	0.76	0.68	0.69	0.79	0.73

(3) 回答者数

所属	1年	2年	3年	4年	その他	無回答	合計
11 環境生態学科	203	47	34	0			284
12 環境政策・計画学科	92	32	18	2			144
13 環境建築デザイン学科	116	60	14	1			191
14 生物資源管理学科	252	125	24	1			402
21 材料科学科	157	67	9	4			237
22 機械システム工学科	163	34	29	10			236
23 電子システム工学科	97	102	37	9			245
30 地域文化学科	260	106	38	5			409
33 生活デザイン学科	64	56	16	2			138
34 生活栄養学科	106	40	44	2			192
35 人間関係学科	103	38	8	5			154
37 国際コミュニケーション学科	102	42	45	5			194
41 人間看護学科	131	93	8	2			234
その他	0	0	0	0			0
無回答(不明)	0	0	0	0			0
合計	1,846	842	324	48	0	0	3,060

(4) 項目別結果 — 開講科目の所属区分別 —

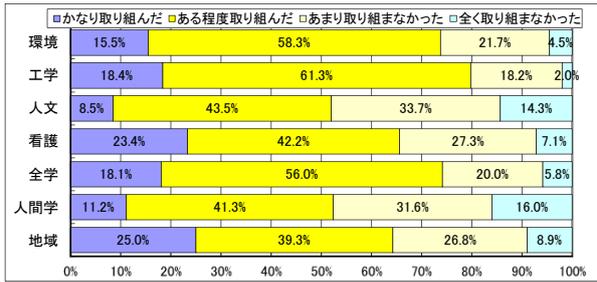
設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。



多くの学生が「きちんと理解した」「ある程度理解した」と回答している。特に全学共通科目では「きちんと理解した」と回答した学生は3割を超え、【理解した】という学生は9割(91.5%)となっている。

「全く読まなかった」という回答は5%未満であることから、大学全体でシラバス(講義概要)を理解したうえでの受講という姿勢が定着しつつある。

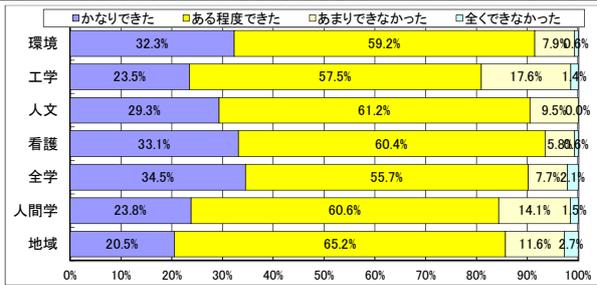
設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。



授業後半が遠隔授業となったため、授業時間内外の線引きが曖昧になったものの、多くの学生が授業時間外の学習に取り組んでいた。

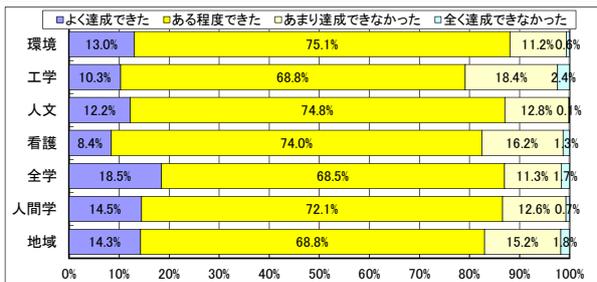
工学部科目については、8割近い学生が授業時間外の学習に【取り組んでいた】ことが伺える。

設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。



多くの学生が「かなりできた」「ある程度できた」と回答している。特に環境科学部、人間文化学部、人間看護学部、全学共通科目では【できた】学生が9割を超えている。

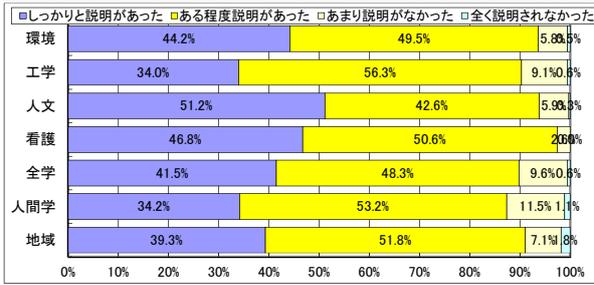
設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



多くの学生が「よく達成できた」「ある程度達成できた」と回答し、ほとんどの科目において8割以上の学生が実感している。

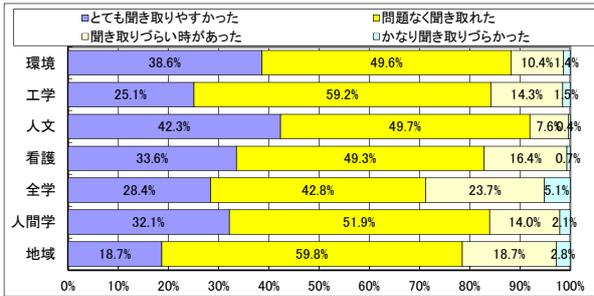
ただし「よく達成できた」と感じる学生は2割未満で、特に人間看護学部科目では8.4%と低い数値となっている。

設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



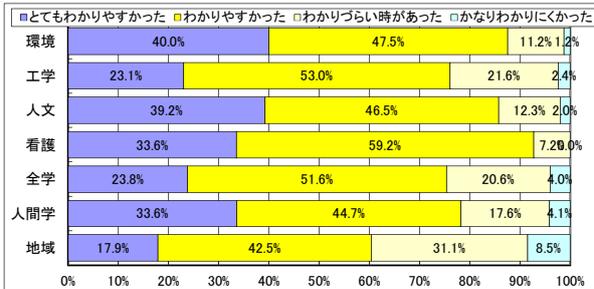
全体では9割程度が「しっかりと説明された」「ある程度説明された」と回答している。特に人間文化学部科目では「しっかりと説明があった」と回答した学生だけでも5割を超える。最低値の工学部でも3割以上の学生が「しっかりと説明があった」と回答しているものの、最高値と比べると17.2ポイント差があるため、学部間のばらつきの差を縮小することが重要と考えられる。

設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。



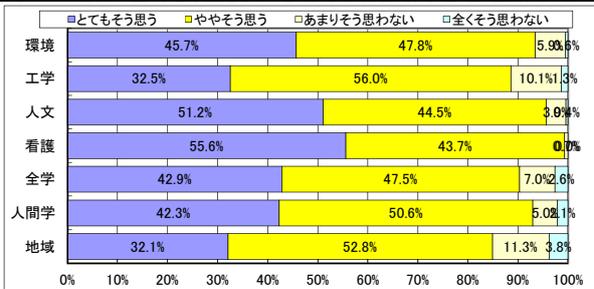
多くの学生が「とても聞き取りやすかった」「問題なく聞き取れた」と回答している。人間文化学部科目については「とても聞き取りやすかった」と回答した学生が4割を超えている。一方で全学共通科目では「かなり聞き取りづかった」と回答した学生が5.1%ほどいる。

設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。



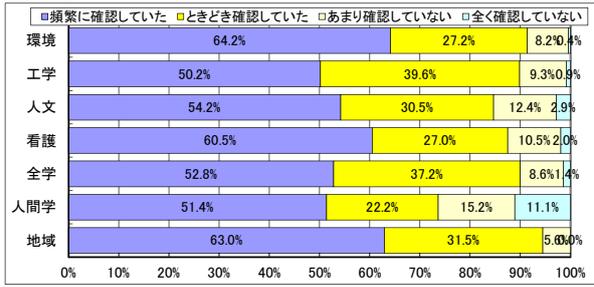
多くの学生が板書やパワーポイント等の視覚情報が【わかりやすかった】と回答され、人間看護学部科目では9割以上の学生に該当する。地域科目については、1割近い学生が「かなりわかりにくかった」と回答している。【わかりやすかった】という回答も他の科目に比べ差があるため、今後は学部間のばらつきを縮小する必要がある。

設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



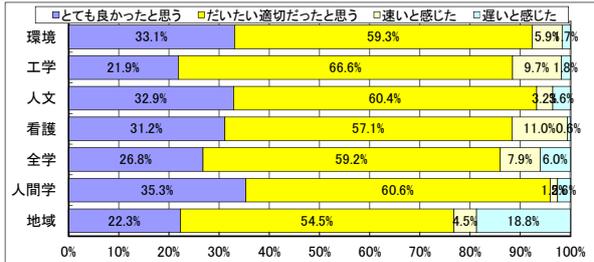
大学全体で教科書や講義資料が授業内容の理解に役立ったと【思う】学生が非常に多い。最高値の人間看護学部科目では99.3%、最低値の地域科目でも84.9%と高い数値を誇る。

設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。



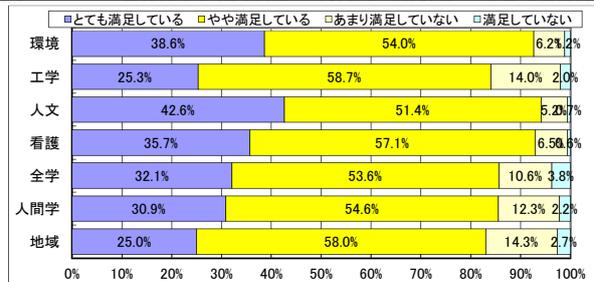
約9割の学生が「頻繁に確認していた」「ときどき確認していた」と回答し、特に人間看護学部科目では95%以上が肯定的な回答だった。

設問10 授業の進め方はどうでしたか。



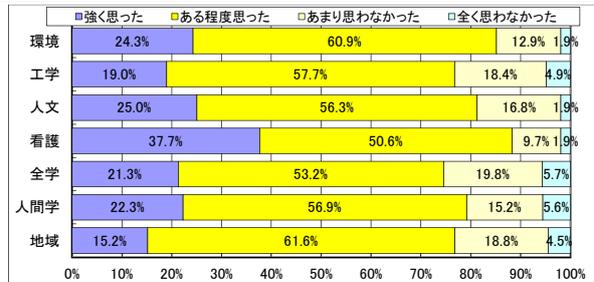
多くの学生が「とても良かったと思う」「だいたい適切だったと思う」と回答し、学生にとって適切なスピードで授業進行がされたと考えられる。大学全体としては、例年どおり「速いと感じる」学生の方が多い傾向にあるが、地域科目では「遅いと感じる」学生が多く2割に近い。

設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。



多くの学生が「とても満足している」「やや満足している」と回答している。【満足している】という回答が9割を超えているものが3学部もあり、大学全体としても満足度が高いと見てとれる。

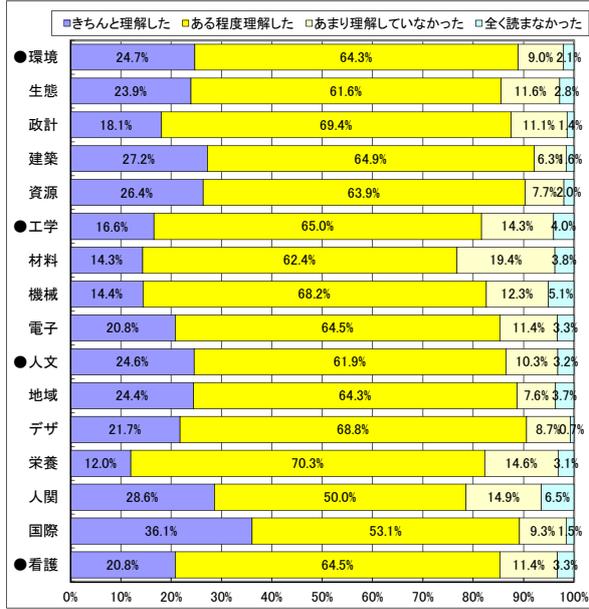
設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたか。



大学全体として、この分野を今後も継続して勉強してみたいと回答した学生が多く、8割以上の学生が今後も継続して当該分野の学習を深めたいと考えていることがわかる。一方で、工学部科目、地域基礎科目で否定的な意見が2割を超えている。

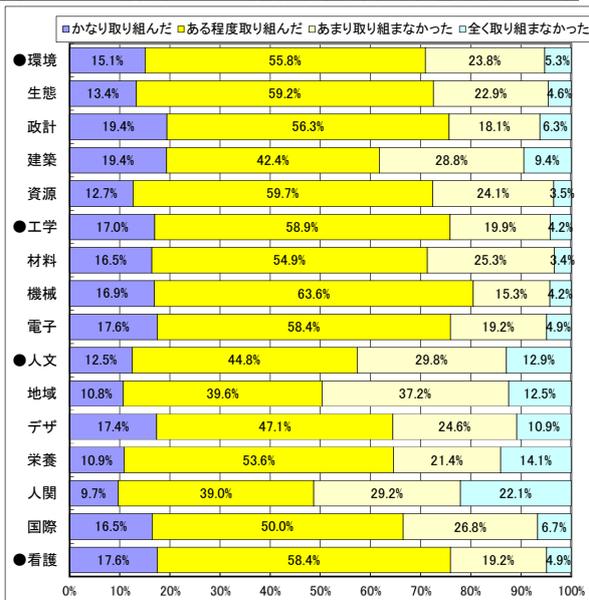
(5) 項目別結果 — 回答者の所属学科別 —

設問1 シラバス(講義概要)を読んで内容を理解した上で受講しましたか。



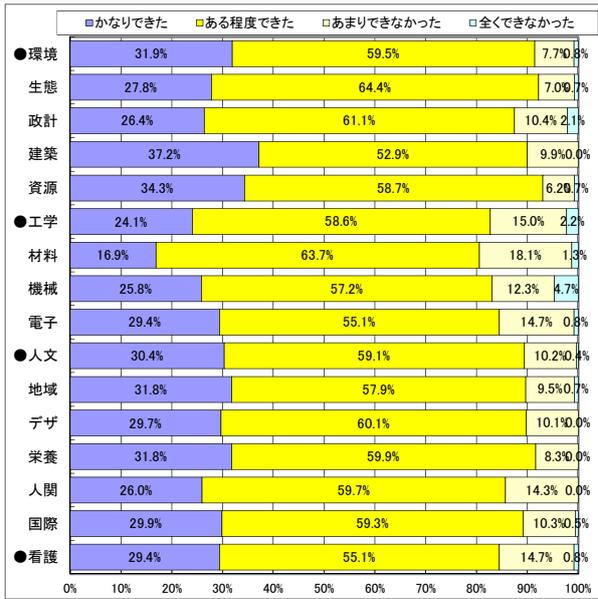
回答者の所属学科による【理解した】との回答はさほど大きくないものの、「きちんと理解した」と回答については国際コミュニケーション学科が36.1%と突出している。
また【理解した】学生が9割を超えているのは、13学科中3学科である(環境建築デザイン学科、生物資源管理学科、生活デザイン学科)。

設問2 この授業について授業時間外で学習しましたか。



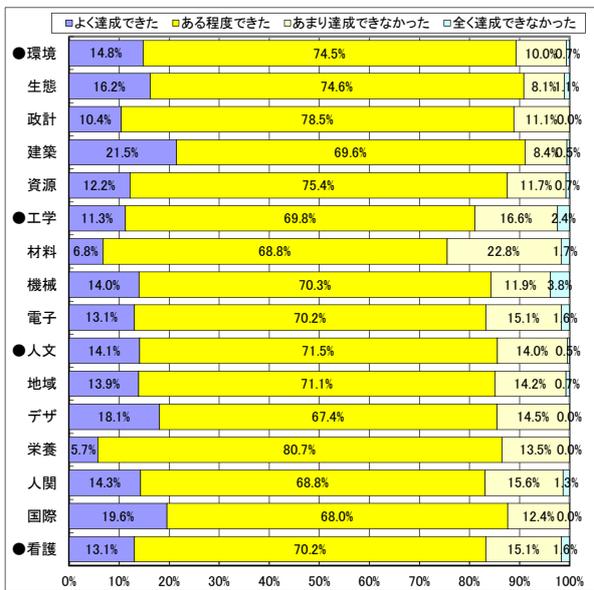
授業後半が遠隔授業となったため、授業時間内外の線引きが曖昧になったため、例年に比べ授業時間外学習に【取り組んだ】と回答した学生にばらつきがある。8割を超える学科もあれば、5割に満たない学生も見られる。

設問3 授業に集中して受講できましたか。あるいは授業に意欲的に取り組みましたか。



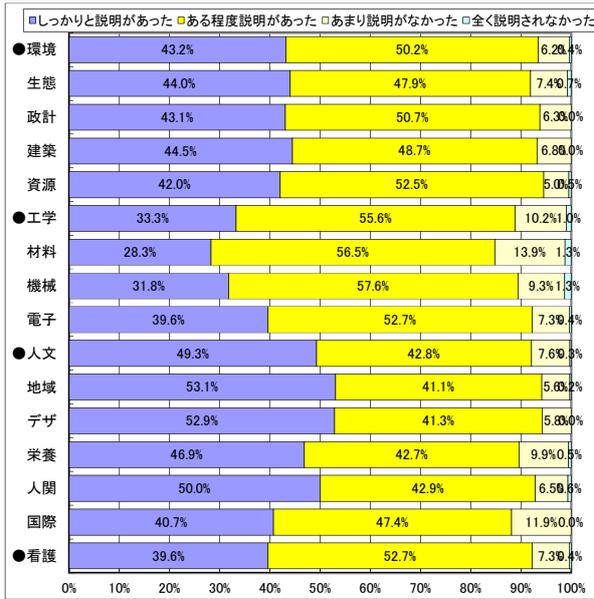
大学全体で、多くの学生が授業に集中して受講【できた】と回答している。特に環境科学部では4学科の平均が91.4%と高い数値となっている。
「全くできなかった」と回答する学生も少なく、最高でも4.7%と5%を切っている。

設問4 あなたは、この授業の到達目標を達成できたと思いますか。



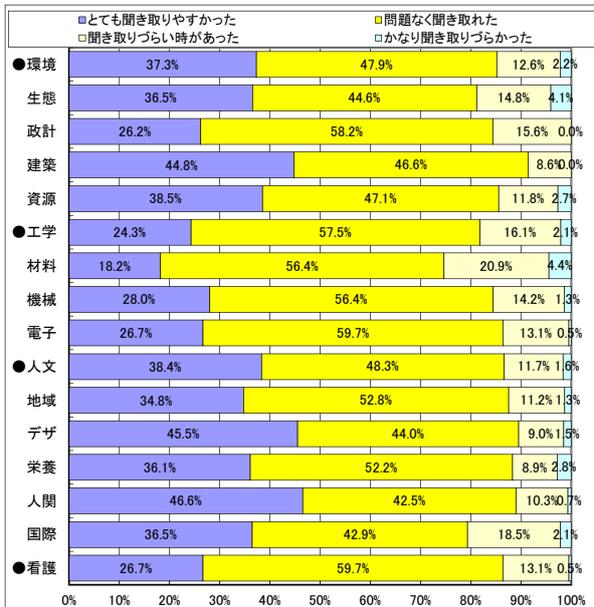
大学全体で、多くの学生が授業の到達目標を達成【できた】と回答している。特に環境生態学科と環境建築デザイン学科は9割を超えている。
「よく達成できた」と回答については、学科間で多少ばらつきがあるように伺える。

設問5 担当教員から授業の進め方や目標、成績評価の方法と基準について説明がありましたか。



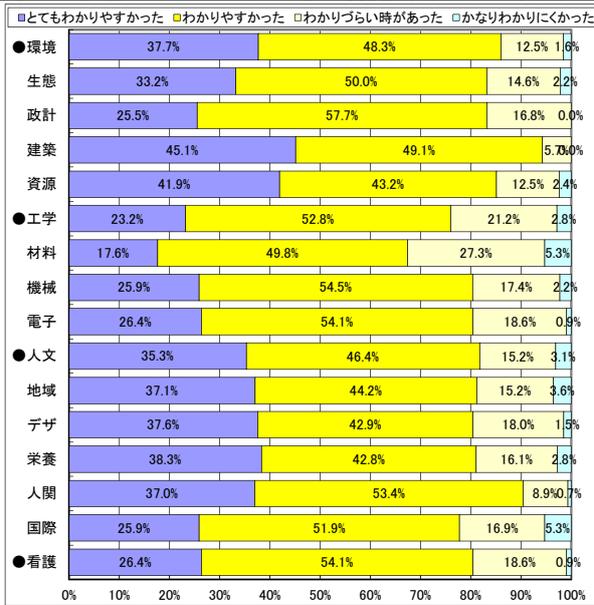
大学全体で、多くの学生が教員から成績評価の方法と基準について【説明があった】と回答している。人間文化学部5学部のうち3学部が「しっかりと説明があった」と回答している学生が5割に達している。
「しっかりと説明があった」については学科間で差があるため、今後は学科間のばらつきを縮小する必要がある。

設問6 話し方(スピード、声の大きさ)は明瞭で聞き取りやすかったですか。



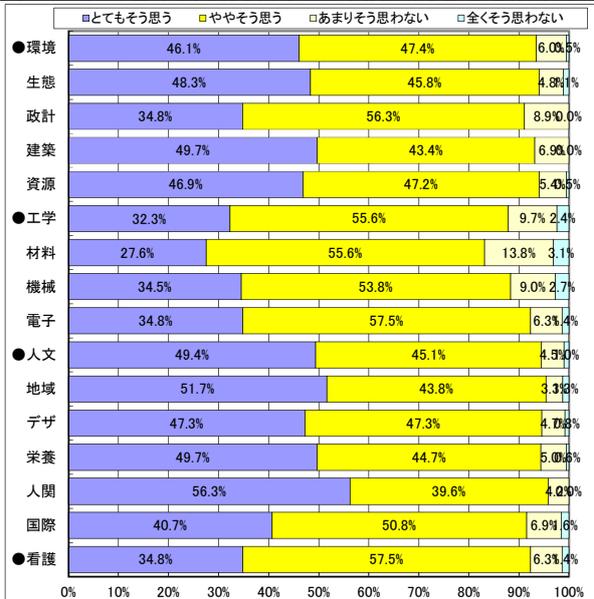
所属学科によるばらつきはあるものの、多くの学生が教員の話し方について「とても聞き取りやすかった」「問題なく聞き取れた」と回答している。
「かなり聞き取りづらかった」という回答も、いずれの学科が5%未満となっている。

設問7 板書やパワーポイント等の視覚情報はわかりやすかったですか。



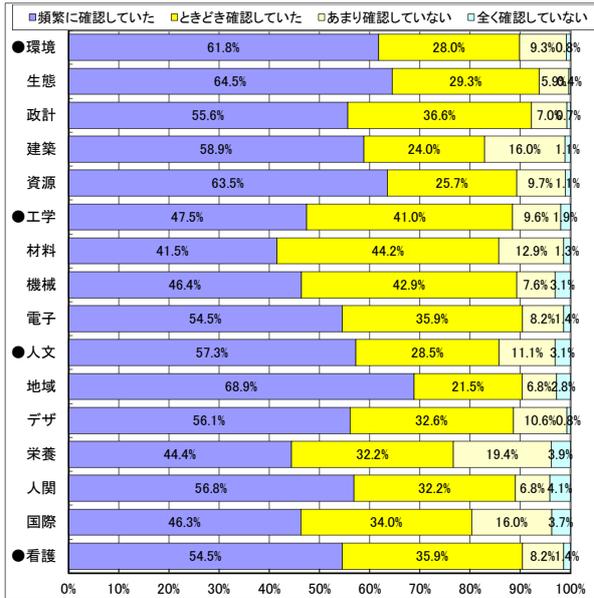
所属学科によるばらつきはあるものの、多くの学生が板書やパワーポイント等の視覚情報が【わかりやすかった】と回答している。特に人間関係学科については、教科書や講義資料についても授業理解に役立ったと回答している学生が多く、受講した科目の講義資料の充実度が高かったと考えられる。

設問8 教科書や講義資料などは、授業内容を理解するのに役立ちましたか。



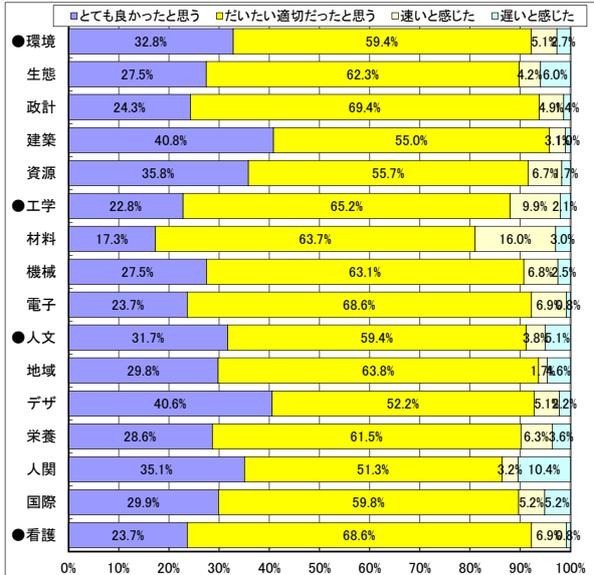
回答者のほとんどが教科書や講義資料が授業内容の理解に役立ったと【思う】と回答している。特に地域文化学科、人間関係学科の学生の5割が「とてもそう思う」と回答している。「全くそう思わない」学生は全学とおして3%以下の科目がほとんどである。

設問9 教員は授業期間中に小テストやレポートあるいはレスポンスペーパーや質問などで学生の理解度を適宜確認していましたか。



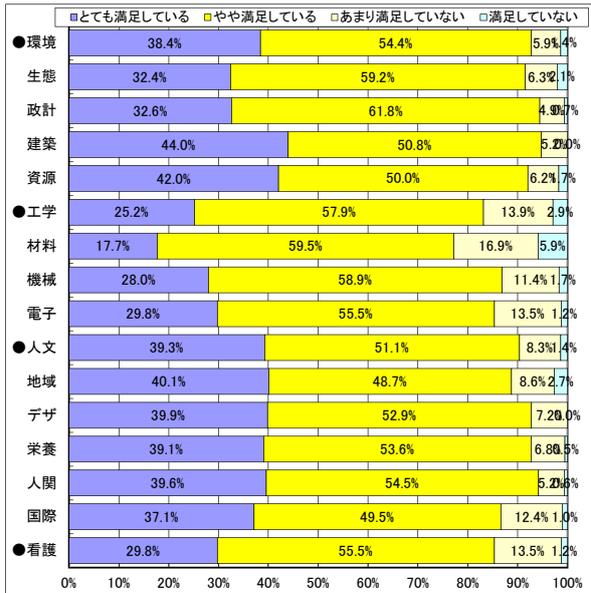
多くの学生が小テストやレスポンスペーパー等により、教員が学生の理解度を【確認していた】と回答している。とくに地域文化学科ではおおよそ7割の学生が「頻繁に確認していた」と回答している。
「全く確認していない」という回答は全学とおして5%未満であり、適宜、学生の授業理解度のチェックがおこなわれていたと考えられる。

設問10 授業の進め方はどうでしたか。



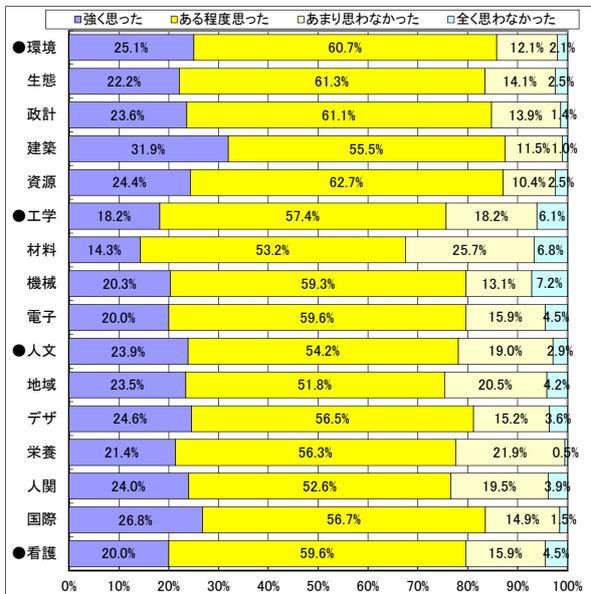
多くの学生が授業の進め方について「とても良かったと思う」「だいたい適切だったと思う」と回答している。
一方、材料科学科の学生のうち16.0%が受講科目中で「速いと感じる」科目があり、逆に人間関係学科の10.4%が「遅いと感じる」科目があったと回答している。

設問11 この授業は、総合的に判断して満足のできる授業でしたか。



多くの学生が受講した授業に対して【満足している】と回答し、環境科学部および人間文化学部では学部平均が9割に達している。
また環境建築デザイン学科、生物資源管理学科、地域文化学科では4割の学生が「とても満足している」と回答している。

設問12 この授業を受講して、その分野を今後も継続して勉強してみたいと思いましたが。



多くの学生が継続して勉強をしたいと【思う】と回答し、特に環境建築デザイン学科では3割以上の学生が「強く思った」と回答している。